

## 目指すべき理想の年代構成の実現について

令和6年5月17日 全学教員配置調整委員会 承認

本学では、教育研究の活力を維持し、さらに進展させ、持続可能な研究体制を構築することを目指して、年齢や職位の構成等の偏りによる組織の硬直化を避けるために、人事給与マネジメント改革の一環として、理想の年代構成の目標値を下記のように設定しました。

中長期的な目指すべき理想の年代構成の設定にあたり、年齢層別の在籍者比率などの現状値や今後の自然変動要因（教員年齢の年次進行、定年退職、新規採用等）、理想の年代構成の実現に向けた人事給与施策の実施などを踏まえて、当該比率に係る中長期的な将来推計を作成しました。この将来推計のほか、「科学技術・イノベーション基本計画（第6期）」において、研究力強化の観点から「将来的に、大学本務教員に占める40歳未満の教員の割合が3割以上」という数値目標が定められていることも考慮して設定したものです。

2段階を想定しており、まずは、令和9年度末までに**若手教員比率 25%**とすること、将来的には**若手教員比率 30%**を目指すことを目標として設定してあります。

今後は、目標実現に向け必要な人事給与施策を継続的に実施し、人事配置・人材育成を計画的かつ戦略的に行っていきます。

### 目指すべき理想の年代構成

- 目標 ①令和9年度末までに若手教員（40歳未満）の比率を25%とする  
②将来的に若手教員比率30%を目指す

令和9年度末までに目指すべき理想の年代構成比率

年代	39歳以下	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上
比率	25%	30%	30%	15%

将来的に目指す理想の年代構成比率

年代	39歳以下	40歳～49歳	50歳以上
比率	30%	30%	40%

教員の年代構成比率

年代	39歳以下	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上
令和3年5月1日	18.5%	36.0%	30.6%	14.9%
令和4年5月1日	18.5%	35.3%	30.8%	15.4%
令和5年5月1日	19.3%	34.0%	29.9%	16.8%
令和6年5月1日	20.0%	32.2%	28.9%	18.9%